

「はったさん」と親しまれる厄除消除の名刹

厄除観音 法多山 尊永寺

豊かな自然に囲まれ、歴史や伝統文化を伝えている「はったさん」。奈良時代に聖武天皇の勅命により開かれ、本尊の正観世音菩薩は厄除観音として知られています。本堂は鎌倉時代の様式を再現した風格のあふれるもの。桃山時代の様式を今に伝える「仁王門」、「金銅五種鈴」は国重要文化財に指定されています。



御守り袋

日本の伝統的な模様が施された華やかな約30種の「古代裂御守袋」が並びます。毎年お正月には新柄が登場！中の御守りだけを返納して、気に入った御守り袋を使い続けることもできます。贈り物にも。

凶が多いおみくじ？

厳しいと感じても江戸時代の内容とほぼ同じ。当時は小さな病でも命に関わることが珍しくありませんでした。そう思い読んでみると、命の尊さ、恵まれた時代に生を受けた感謝へと変わります。



星満夜

9月下旬から10月上旬の新月の週末に開催。ライトダウンされた境内から美しい星空を眺めます。天体観察やワークショップ、飲食の出店など楽しいイベントも盛りだくさん。



田遊祭

法多山の正月行事として毎年1月7日に開催。五穀豊穡を願い、米作りを舞楽で表現する伝統芸能です。室町時代から伝わり、国記録無形民族文化財にも指定。祭り後の福餅投げも楽しみのひとつ。



万灯祭

一年で最もご利益のある7月10日にお参りをすれば4万6千日分のご利益があり、灯を奉納すれば倍増するとも伝えられています。7月9日、10日の「万灯祭」は何千もの灯籠で幻想的な夜に。



厄除だんご

一口サイズの団子が5本ひとつなぎになった名物。なめらかなあんこ、もちもちのだんごは一服やお土産にもぴったり。毎月の「功德日」には「茶だんご」も販売。ほか、期間限定の味も！

